

令和2年12月期(第58期)第3四半期 決算ダイジェスト

連結売上高 1,587億53百万円(前年同期比△3.4%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 57億14百万円(前年同期比△16.9%)

令和2年(2020)12月期-第58期-第3四半期 連結経営成績

	令和元年(2019)12月期 第3四半期		令和2年(2020)12月期 第3四半期							
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前年増減額	前年 同期比 (%)	計画	構成比 (%)	計画差額	計画比 (%)
売上高	1,644億26百万円	-	1,587億53百万円	-	△56億72百万円	△3.4	1,658億35百万円～ 1,531億85百万円	-	△70億81百万円～ +55億68百万円	△4.3～ +3.6
売上 総利益	350億25百万円	21.3	344億91百万円	21.7	△5億33百万円	△1.5	356億43百万円～ 330億58百万円	21.5～ 21.6	△11億51百万円～ +14億33百万円	△3.2～ +4.3
販売費及び 一般管理費	250億64百万円	15.2	263億53百万円	16.6	+12億89百万円	+5.1	267億88百万円～ 264億47百万円	16.2～ 17.3	△4億34百万円～ △93百万円	△1.6～ △0.4
(うち減価償却費)	35億51百万円	2.2	47億23百万円	3.0	+11億72百万円	+33.0	46億51百万円	2.8～ 3.0	+72百万円	+1.6
営業利益	99億61百万円	6.1	81億38百万円	5.1	△18億23百万円	△18.3	88億55百万円～ 66億11百万円	5.3～ 4.3	△7億16百万円～ +15億27百万円	△8.1～ +23.1
経常利益	101億79百万円	6.2	84億59百万円	5.3	△17億20百万円	△16.9	91億49百万円～ 69億05百万円	5.5～ 4.5	△6億89百万円～ +15億54百万円	△7.5～ +22.5
親会社株主に帰属 する 四半期純利益	68億75百万円	4.2	57億14百万円	3.6	△11億61百万円	△16.9	62億29百万円～ 46億81百万円	3.8～ 3.1	△5億14百万円～ +10億33百万円	△8.3～ +22.1
1株当たり 四半期純利益	104円27銭	-	86円66銭	-	△17円61銭	-	94円46銭～ 70円98銭	-	△7円80銭～ +15円68銭	-
PB売上高	332億29百万円	20.2	312億84百万円	19.7	△19億44百万円	△5.9	331億69百万円～ 306億08百万円	20.0	△18億85百万円～ +6億76百万円	△5.7～ +2.2
設備投資額	171億63百万円	-	75億64百万円	-	△95億99百万円	-	-	-	-	-

セグメント別実績

	令和元年(2019)12月期 第3四半期		令和2年(2020)12月期 第3四半期				
	売上高	売上 総利益	売上高			売上総利益	
	金額	率	金額	前年 同期比	予算比	率	前年 同期比
ファクトリールート	1,272億95百万円	20.8%	1,166億74百万円	△8.3%	△5.7%～+2.3%	21.2%	+0.4 pt
eビジネスルート	254億73百万円	25.1%	286億12百万円	+12.3%	△1.6%～+6.5%	25.5%	+0.4 pt
ホームセンタールート	105億82百万円	17.5%	125億80百万円	+18.9%	+4.7%～+10.2%	17.7%	+0.2 pt
海外ルート	10億74百万円	31.9%	8億86百万円	△17.6%	△12.6%～+7.9%	30.3%	△1.6 pt
全社合計	1,644億26百万円	21.3%	1,587億53百万円	△3.4%	△4.3%～+3.6%	21.7%	+0.4 pt

売上高【連結】1,587億53百万円 / 前年同期比△3.4%

新型コロナウイルス感染症拡大により、ファクトリールートにおける設備投資の鈍化が顕著に見られました。

① **ファクトリールート 1,166億74百万円(前年同期比△8.3%/△106.2億円)【予算比△5.7%～+2.3%/△70.6億円～+25.8億円】**

米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、全体の景況感及び設備投資は引き続き鈍化傾向です。同ウイルス感染症拡大防止に付随する商品群は好調に推移していますが、梅雨明けの遅れ等により夏物商材が低調に推移しました。

② **eビジネスルート 286億12百万円(前年同期比+12.3%/+31.3億円)【予算比△1.6%～+6.5%/△4.5億円～+17.5億円】**

通販企業向け 222億63百万円(前年同期比+14.3%/+27.8億円)

MROサプライ※ 63億49百万円(前年同期比+5.9%/+3.5億円)

※大手ユーザー企業の購買担当者様を中心に利用されている電子購買向けの販売。

景況感の影響により BtoB 向け商材の売上高の減速がみられるものの、取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染症拡大の巣ごもり需要により、主に BtoC の通販企業様への受注が増加し、依然として売上高は拡大傾向にあります。

③ **ホームセンタールート 125億80百万円(前年同期比+18.9%/+19.9億円)【予算比+4.7%～+10.2%/+5.7億円～11.6億円】**

プロショップへの売上高 17.4億円(前年同期比+11.1%/+1.7億円)

プロショップへの売上高拡大は継続しており、また主力のホームセンター様とも取り組みを強化しております。

売上総利益【連結】 売上総利益率 21.7% / 前年同期比+0.4pt ()前年同期比

① 粗利率の高い、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る商品群の売上拡大および、e ビジネスルートの売上及び粗利率が増加。

② NB 商品粗利率: 18.1%(+0.5pt)、PB 商品粗利率 36.4%(+0.7pt)。

【参考】PB 商品売上高構成比: 19.7%、PB 商品売上高: 31,284 百万円(△5.9%)

販売費及び一般管理費【連結】

263 億 53 百万円 / 前年同期比+5.1%(12.8 億円増加、主な要因は以下) ()前年同期比

(1)減価償却費 47 億 23 百万円(+33.0%/+11.7 億円)

① 物流センターの建屋・物流機器

プラネット東北(+286 百万円)、プラネット南関東(+130 百万円)

② 基幹システム「パラダイス」リニューアル(+470 百万円)

(2)運賃荷造費 47 億 15 百万円(+2.7%/+1.2 億円)

① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要増で路線便の出荷個数が 13.4%増加(+198 百万円)

② 個口出荷単価の影響 (△22 百万円)

③ 備車の減便(△149 百万円) (参考)備車台数 163 台(前期末比△12 台)

(3)支払手数料 18 億 84 百万円(+37.1%/+5.1 億円)

① 基幹システムリニューアルなどに伴うシステム関連保守点検費用(+223 百万円)

② 新システム稼働後の初期対応費用等(+110 百万円)

(4)販売促進費 61 百万円(△74.4%/△1.7 億円)

①カタログ「2020 年度版トラスコ オレンジブック」編集データ製作費用(△73 百万円)

(参考)給与及び賞与 81 億 59 百万円(△2.6%/△2.1 億円)

① 社員 1,692 名(+15 名) パートタイマー 1,109 名(△7 名)

② 社員残業代(△290 百万円)

在庫に関する重要指標 ()前年同期比

①在庫アイテム数: 42 万 6,300 アイテム (+39,500 アイテム)

②在庫ヒット率※: 91.1% (+0.7pt)※全受注のうち在庫から出荷した割合

令和 2 年(2020)12 月期 -第 58 期- 業績予想 (10/29 業績予想修正)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率(%)	前年増減率
売上高	2,258億49百万円～ 1,985億48百万円	2,119億65百万円	-	-	△3.9%
営業利益	126億40百万円～ 76億36百万円	110億48百万円	-	-	△19.9%
経常利益	130億00百万円～ 79億96百万円	114億12百万円	-	-	△19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	89億52百万円～ 54億99百万円	78億50百万円	-	-	△18.3%
1株当たり当期純利益	135円75銭～ 83円39銭	119円04銭	-	-	△26円74銭

現時点においても新型コロナウイルス感染症による影響は見通しにくい状況にありますが、企業の生産活動における状況や直近の当社の売上高の推移を鑑みて、令和2年 12 月期通期連結業績予想(令和2年1月1日～令和2年 12 月 31 日)について、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上記の通り修正します。

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 兼 経理部 部長 中山 達也

【本件問い合わせ先】経営企画部 経営企画・広報 IR 課 課長 片桐 武志/経営企画・広報 IR 課 平野 みのり

TEL: 03-3433-9840/MAIL: info@trusco.co.jp